

会議名 財務常任委員会

日時 令和6年9月27日(金) 午後1時39分～午後1時50分

場所 第2・第3委員会室

出席議員(14名) 委員長 谷平敬子 副委員長 須藤智子 委員 梅村 均
委員 片岡健一郎 委員 鬼頭博和 委員 水野忠三
委員 堀江珠恵 委員 大野慎治 委員 日比野 走
委員 井上真砂美 委員 伊藤隆信 委員 塚崎海緒
委員 木村冬樹 委員 榎谷規子

欠席議員 なし

説明員 総務部長 中村定秋、市民協働部長 伊藤新治、福祉部長 長谷川忍、健康こども
未来部長 西井上剛、建設部長 西村忠寿、消防長 岡本康弘、教育部長 石川文
子、総務部専門監 齋藤元英
企画財政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、行政課長 兼松英知、こども家庭課長
兼地域交流センター長 神山秀行、同主幹 佐久間喜代彦

事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主任 丹羽亮二

付議事件及び審議結果

議案番号	事件名	採決結果
議案第75号	令和6年度岩倉市一般会計補正予算(第6号)	全員賛成 原案可決

財務常任委員会（令和6年9月27日）

◎委員長（谷平敬子君） ただいまから財務常任委員会を開催いたします。

当委員会に付託されました案件は議案1件であります。

審査に入る前に、当局から挨拶をお願いいたします。

◎健康こども未来部長兼福祉事務所長兼こども家庭センター長（西井上 剛君） お昼になりまして、どうも恐縮でございますが、改めましてこんにちはということで、よろしくお願いをしたいと思います。

9月議会の追加ということで議案を提出させていただきました。今回、工事に関するところで、入札手続等の関係でどうしても当初には間に合わず、今回追加でお願いをするものでございます。

グループ長以上が出席しております。丁寧な説明に努めさせていただきますので、慎重審議いただきますよう、どうぞよろしくお願いをいたします。

◎委員長（谷平敬子君） ありがとうございます。

議案第75号「令和6年度岩倉市一般会計補正予算（第6号）」を議題とします。

当局の説明はいかがいたしましょう。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（谷平敬子君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑は歳出から行います。

歳出についての質疑を許します。

◎委員（大野慎治君） 何点かお聞きさせていただきます。

もともと田んぼでございますので、遺跡埋蔵文化財の発掘をしなくても敷鉄板は必要だったんじゃないかと思うんですが、もともと。もともと要るので、工事として業者さんが敷くんじゃないかと思うんですけど、その部分を見るというのが僕にはちょっと理解できず、埋蔵文化財とはそもそも関係ないんじゃないの、そもそも敷鉄板は必要だったんじゃないかと僕は思うんですが、いかがでしょうか。

◎こども家庭課主幹（佐久間喜代彦君） 御指摘いただきました点につきまして、今年度当初予算の策定に際したときには、ちょっとまだその辺のところは現実見えていなくて、実際に設計に入った時点でそういったところが必要になってくるということで、結果工事費が不足してくるということが分かったということでございます。

◎委員（大野慎治君） 田んぼとかやる工事は、建設部が管理しているときは絶対に敷鉄板を、多分、必ず設計に入っていたりするので、それはちょっと

と、やっぱりそういった水道の工事関係は建設部に見てもらおうということが必要なんじゃないかなと思います。

また、二次製品の原材料費が高騰したということですが、当初の予算時のものとどれくらい上がったのか、その辺のところの割合を教えてください。おおよそこれくらい上がったという感じを、形を教えてください。

◎こども家庭課長兼地域交流センター長（神山秀行君） おおむね1.4倍程度上がっております。

◎委員（大野慎治君） さすがに1.4倍というのは、昨今のこの半年で1.4倍というのは考えられないと思うんだけど、もともと3月の段階で、ちょっと積算が甘かったのかなとは思いますが。

あと、水路の移設工事を行うんですが、結果的に埋蔵文化財の調査が入ったので、来年度の造成工事と一緒に工事してもさして影響はなかったんじゃないかという、そうしたほうがコストも逆に下がったんじゃないかと考えられますが、いかがでしょうか。

◎こども家庭課主幹（佐久間喜代彦君） こちらについては、開発許可の申請の関係で、水路の工事は水路の工事として実施して、それが完了した後に保育園の建設のための造成の工事ということでの開発の許可を取っていくという手続が必要になりますので、一緒にはできない別々の工事でさせていただきたいというふうに思っております。

◎委員（大野慎治君） ちょっと僕、考え方が違うと思って、造成工事と一緒にやっても、先に水路工事を実施しちゃえば先にできたと思うんですね、その工事を、たとえ造成工事と一緒に発注したとしてもですよ。

そういったところの考え方を総合的に見たほうが、コストが結局、水路工事と造成工事とばらばらに発注すると結果的に割高になるので、やっぱりそういったところは総合的に建設部に見てもらったほうがいいのかと僕は思います。以上です。

◎委員長（谷平敬子君） ほかに質疑はございませんか。

◎委員（梶谷規子君） 予算の293万5,000円の内訳を教えてください。敷鉄板の敷設が必要になったことでどれだけ、物価高騰の分でどれだけなのか教えてください。

◎こども家庭課長兼地域交流センター長（神山秀行君） 二次製品の単価上昇につきましては66万円ほど、あとは鉄板のほうが運搬賃とか賃料を含めまして94万円ほど、それ以外が現場管理費や一般管理費、消費税等になっております。

◎委員長（谷平敬子君） ほかに質疑はございませんか。

◎委員（木村冬樹君） この補正というものの考え方をちょっとお聞きしたいというふうに思っています。

五条川小学校区統合保育園整備事業でいえば、令和5年度の決算を見ましても、予算が流用されて、委託費だとかね、100万単位で行われているということで、こういう予算を流用する場合だとか、あるいは予備費から充当するという場合もあるというふうに思います。

議会としては、やはり補正予算で組んでもらったほうが理解もできますし、そのときに議論できるもんですからね、非常に分かりやすくありがたいですし、予算書の中にもそういう補正予算を記入していく欄がありますので、そういうところに記入していけば、これがまた決算で生きてくるのかなというふうに思っていますけど、そういったこの補正予算、あるいは流用、予備費からの充当という判断の基準というものは、何か財政のほうであるんでしょうか。

◎企画財政課長（佐野 剛君） 予算が不足する場合なんですけれども、原則補正予算で対応することとしています。議会のほうで御議論をいただく場を設けるというのを原則としております。

ただし、補正予算の議決までに間に合わない、緊急に対応する必要があるような場合は、その額にもよりますけれども、担当課の執行の残額で見込めるかどうかを確認した上で、可能であれば担当課の予算の流用ということも考えられるといったところですよ。それでもなおその予算で対応できない場合は予備費でも対応するといった流れとなっております。

◎委員（木村冬樹君） 再確認になりますけど、ですから、多分この議会のタイミングが大きなことで、額とかそんなのは考えにはないという、そういうタイミングだけという感じなのかどうか、確認させてください。

◎企画財政課長（佐野 剛君） 繰り返しになりますけれども、基本は、原則はですね、繰り返しですけれども、補正予算を提出するという事なんですけれども、本当にごく少額のような場合も中にはあり得ると思うんですけれども、そのような場合は流用というようなことも対応はしております。

◎委員長（谷平敬子君） ほかに質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（谷平敬子君） ないようですので、以上で歳出についての質疑を終結いたします。

次に、歳入に入ります。

歳入についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（谷平敬子君） ないようですので、以上で歳入についての質疑を終わり、質疑を終結いたします。

お諮りします。

委員間討議を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（谷平敬子君） 御異議なしと認め、委員間討議を省略します。

次に、議案に対する討論に入ります。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（谷平敬子君） 討論はないようですので、直ちに採決に入ります。

議案第75号「令和6年度岩倉市一般会計補正予算（第6号）」について、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（谷平敬子君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案第75号は全員賛成により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました案件は議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（谷平敬子君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で財務常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。